

## 静岡市の考え方

### ①歴史ある大木を伐採してしまうこと⇒静岡市の学問の歴史の喪失

- ・旧制静岡高校、静岡大学の歴史を引き継いでいる樹齢百年以上の大木、そのほか樹木百本を伐採してしまう。
- ・今回の計画では、「木々は残す」「ほとんど切らずに整備する」等特に自治会では「くすのき1本ケヤキ4本程度の伐採」と聞いている自治会長が多い。本当にそれで済むのか？

### ②市民が親しんできた花や緑の環境が失われること

- ・なんじゃもんじゃ、みことな藤棚、ツツジ、桜、キンモクセイなど上記高木を含めた豊かな花と緑の環境がなくなる。
- ・移植といってもその場所の手当がされていない。駿府城公園整備における移植樹木は全て枯れたという実態があると、今回も枯れる可能性も多分にある。

### ③市民の意向が反映されていない

- ・周辺自治会への説明が行われていない。
- ・PFIプランに公園利用者の意向が反映されていない。

### ④そもそもこのPFIプランには問題がある？

- ア.大きな駐車場はそもそも公園内ではなく、外でもいいのではないのか？
- ・公園内の貴重な緑や既存のオープンスペースを残して周辺に確保できる
- ・公園と近接する普通自動車40~45台は駐車可能なほとんど使われていない図書館の第2駐車場がある。消防車両等の廃車置き場になっている。
- ・都市計画道路東町大岩線。白線で駐車帯を設ければ40台は駐車できる。
- ・公園内の維持管理車両の駐車場は20台程度駐車可能。機能を分けて、維持管理車両と車椅子ベビーカーの専用駐車場にする。
- ・その他公園近接地に空き地がある。

#### イ.カフェはすでにある

- ・城北公園に近接して喫茶店1軒、パン屋2店、ケーキ屋1店がある。スタバの出店はこれらの民間店舗の経営を圧迫することになる。
- ・公的事业でスターバックスを誘致して地元事業者を圧迫してよいのか、甚だ疑問。

#### ウ.失う価値を計算していない

- ・貴重な大木など緑が失われるが、その価値損失が考慮されていない
- ・数千万円に昇る可能性もある

### ⑤広域避難地としての機能が失われる

- ・城北公園は大地震のなどの際の広域避難地として指定されている。
- ・周辺住宅等、約14,000人の避難地とすることとなる。
- ・しかし、本PFIプランでは約5千㎡の面積を割くと、約2500人分の避難スペースが失われる
- ・この2500人をどこに収容するのか？

- 城北公園の素晴らしい環境をできるだけ維持したいと考えていることから、公募にあたっては、伐採は整備に伴う必要最小限とすることを条件としており、城北公園のシンボルとなっているヒトツバタゴと桜は、施設と干渉する場合には代替え方法等を協議することとなっています。
- 事業者の提案では、現在の城北公園の環境や雰囲気配慮しケヤキ及びクスノキの伐採は必要最小限にとどめ、ヒトツバタゴはすべて移植、桜については伐採した本数を植樹する計画となっています。

- 移植したヒトツバタゴ、植樹した桜等、事業者が整備する範囲内については、今後事業者が管理することになります。
- 30年前と比べ移植の技術も向上していることに加え、これまで隔年で行われていた剪定が毎年行われることとなり、きめ細やかな管理をしていくこととなりますので、これまで以上の環境が整い健全なものになっていくと考えています。

- 市民の声、アンケート、市民ワークショップなどでは、城北公園に限らず、「静岡市には魅力的な公園があるが、駐車場がないため行くこと難しい」「飲食店などの休憩できる施設がほしい」という意見が多く寄せられている状況です。
- このため、今回の公募にあたっては、公園利用者の意向を反映するため、課題となっていた駐車場と飲食店を条件としました。
- また、コロナ禍の影響で規模を縮小・時間を短縮した中ではありますが、安東地区の総会において事業内容について説明させていただきながら進めております。

- 大岩車庫の土地は、変形地であり、土砂災害警戒区域に位置していることから、一般の方の駐車場として適さないと判断しています。
- このため、静岡庁舎周辺にまとまった土地がないことを勘案し、大型車両の車庫及び年2回の売り払いのために廃車置き場として活用している状況です。現在使用していない場所についても、市の土地として限られたスペースであることから、管財課で今後利用する予定となっています。
- 都市計画道路東町大岩線の土日の路上駐車については、現状でも40台程度止められることは把握しており、それを踏まえても駐車場が足りていないことから、今回の整備に踏み切ったところです。
- 城北公園内管理棟前については、耐震性貯水槽が備えられ給水拠点となっていることから、災害時のスペースとして確保している場所となりますので、すべてを駐車場とすることはできないと考えています。

- 公園利用者が周辺の民間店舗を利用していることは把握しております。今回カフェ等ができる事により、より周辺の店舗を知っていただく機会になり、周辺店舗を含めて相乗効果が期待できると考えています。

- 本市としても、貴重な大木などの緑が失われることによる損失はあると考えますが、城北公園の素晴らしさをたくさんの方に知っていただける機会を創出することで、それ以上に得られる価値があると考えております。また、きめ細かい管理をすることにより、これまで以上に樹木の価値が高まると考えております。

- 城北公園の自由広場の約10,000㎡は災害時の避難場所として整備されており、災害時の大切な広場となっております。
- 今回新たに整備される駐車場も災害時の活動支援スペースとして、また店舗は一時的な避難生活の場所として活用できることから、広域避難地としてさらに充実したものになると考えております。

A

B

C

D

E

F

G